



【資料編】



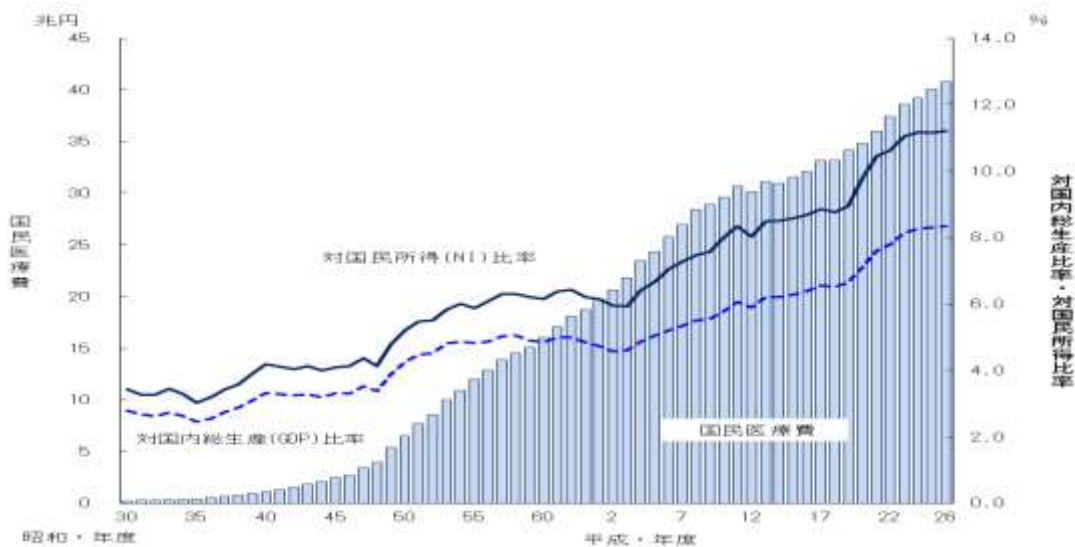
目 次

(資料1) 医療を取り巻く環境	1
(資料2) 重点取組事項	2
(資料3) 高松市立病院を良くする会(開催状況・評価結果報告書)	6
(資料4) 高松市立病院の医療の確保と健全化をすすめる会(開催状況)	20
(資料5) 収支計画算定基礎数値	21
(資料6) 参考データ	24



■(資料1)医療を取り巻く環境

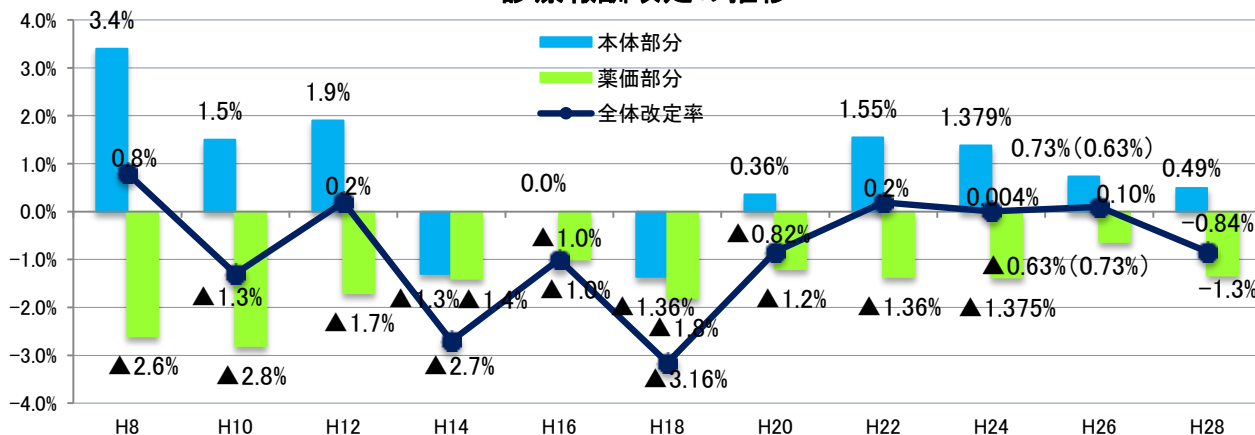
国民医療費・対国内総生産及び対国民所得比率の年次推移



病院事業を取り巻く環境と経営計画等

社会保障・税一体改革		25	26	27	28	29	30	31	32	33	
		H25施行 持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律(病床機能報告制度、病床機能分化及び連携、地域包括ケア等)									
国	医療法	H26改正 → 医療機関から県に医療機能の報告、県はそれをもとに地域医療構想(ビジョン)を保健医療計画において策定									
	診療報酬	H26改定			H28改定		H30改定		H32改定		
	介護報酬	H27改定				H30改定					
県	保健医療計画	H25~H29第6次計画					H30~H34第7次計画				
	高齢者保健福祉計画	H24~H26第5期計画		H27~H29第6期計画			H30~H32第7期計画				
国	高齢者保健福祉計画	H24~H26第5期計画		H27~H29第6期計画			H30~H32第7期計画				
	病院事業経営健全化計画	H24~H26第5期計画		H27~H29第6期計画			H30~H32第7期計画				
	新病院等整備	整備中					H30 前半開院予定				

診療報酬改定の推移



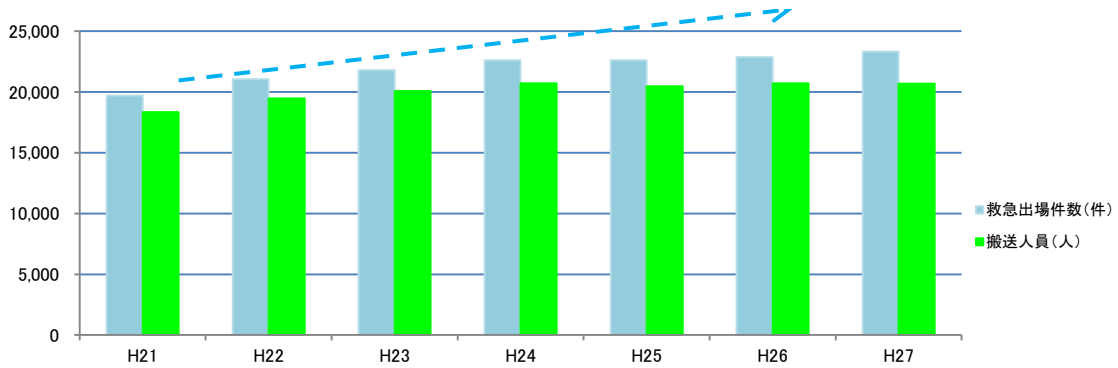
※H26の()内は、消費税率の引き上げに伴う医療機関等の課税仕入れに係るコスト増への対応分



■(資料2)重点取組事項

救急医療機能の強化

高松市救急出場件数及び搬送人員

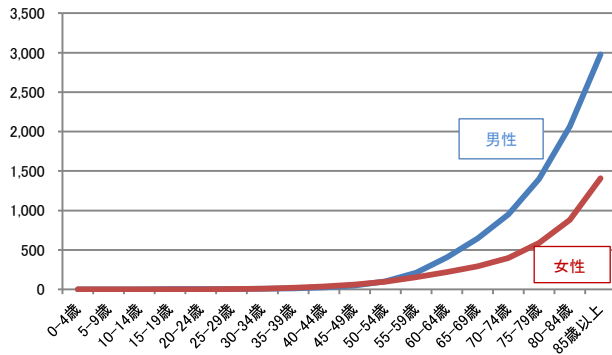


救急救助統計(高松市消防局)

がん診療機能強化

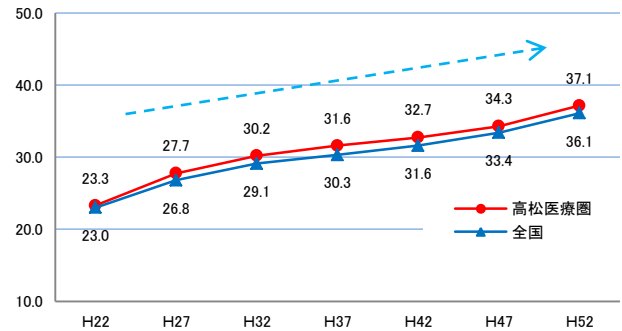
人口 10 万人対

がん年齢階級別死亡率



(資料) 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター

高松保健医療圏の高齢化率の推移



H25 地域別将来推計人口 (国立社会保障人口問題研究所)

地域包括ケアの強化

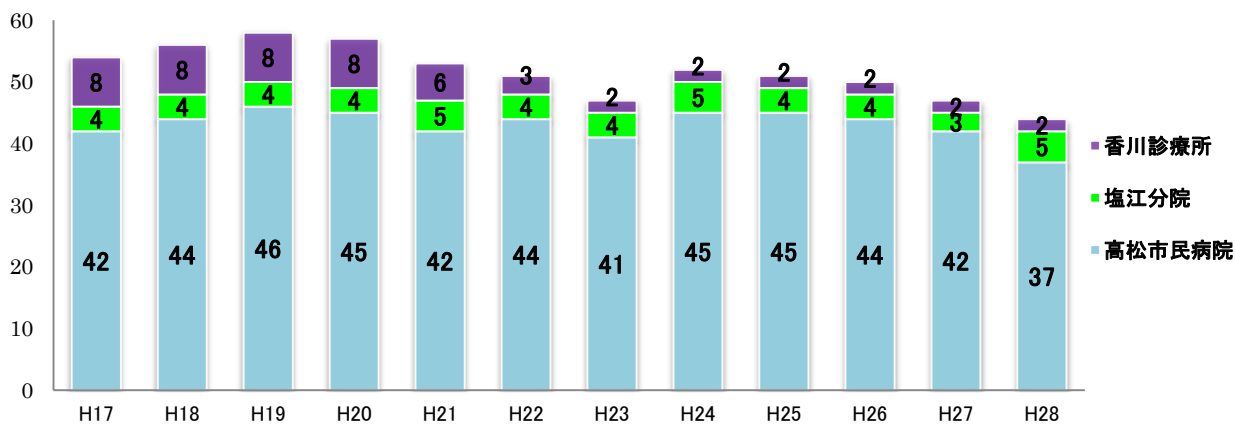


平成 28 年度診療報酬説明会資料 (厚生労働省)

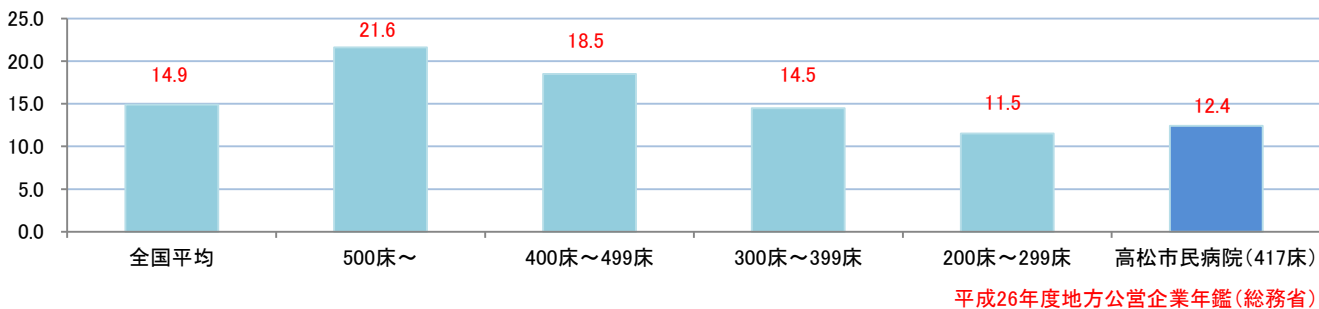


医師確保機能の強化

(人) 市立病院の常勤医師数の推移(各年4月1日現在)

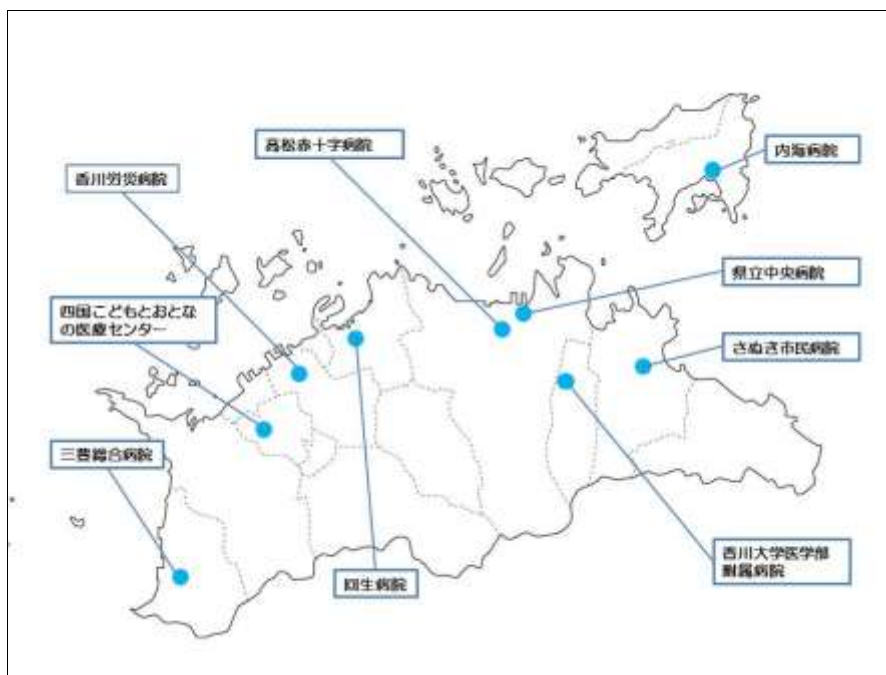


(人) 100床当たり医師数(一般病院・規模別)



災害医療機能の強化

県内DMAT指定病院・災害拠点病院

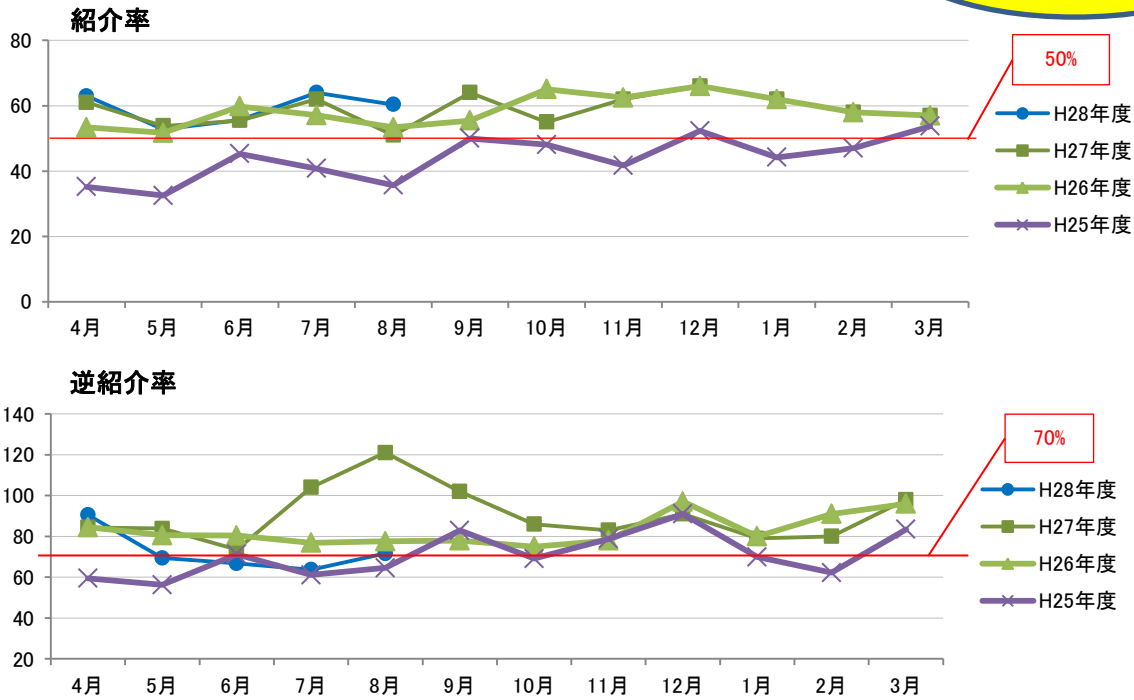




地域医療連携の強化

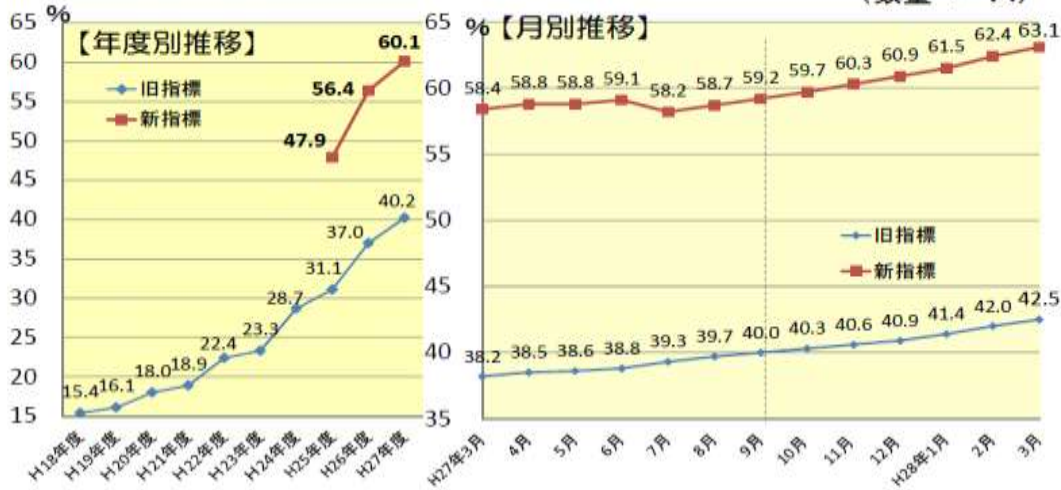
平成26年12月
地域医療支援病院承認

紹介率・逆紹介率の推移(高松市民病院)



医療の効率性の確保

「最近の調剤医療費(電算処理分)の動向」における後発医薬品割合(数量ベース)

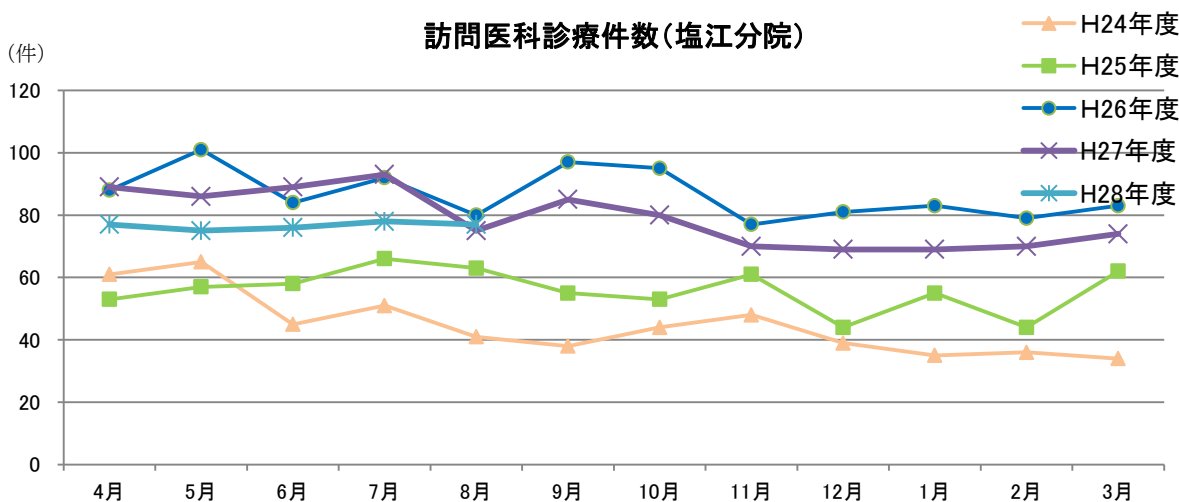
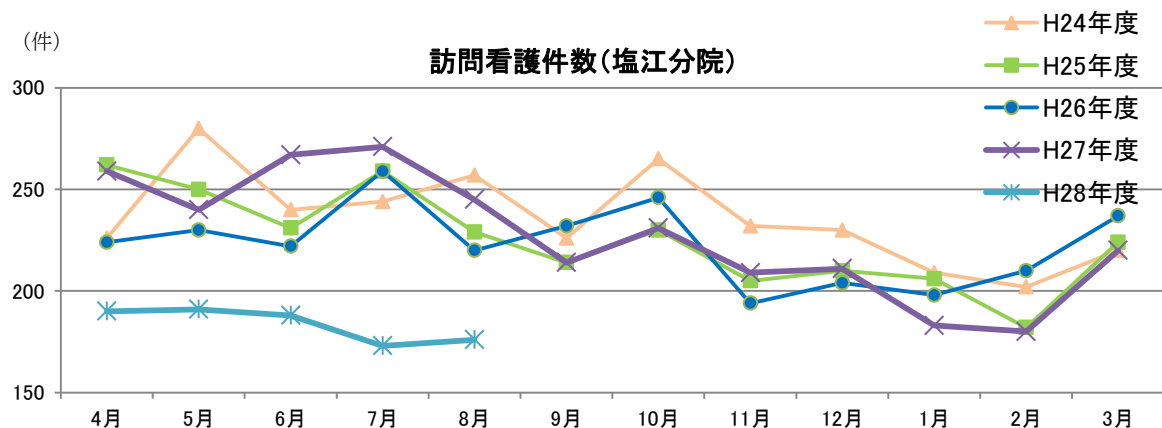


注1) 保険薬局で、レセプト電算処理システムで処理された調剤レセプトのデータをもとに分析したもの(出典:「最近の調剤医療費(電算処理分)の動向」(厚生労働省保険局調査課))。
 注2) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
 注3) 新指標とは、後発医薬品のある先発医薬品及び後発医薬品を分母とした後発医薬品の数量シェア(「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」で定められた目標に用いた指標)。
 旧指標とは、全医療用医薬品を分母とした後発医薬品の数量シェア(平成19年に「医療・介護サービスの質向上・効率化プログラム」で定められた目標に用いた指標)。

(厚生労働省HP) 後発医薬品(ジェネリック医薬品)の促進について

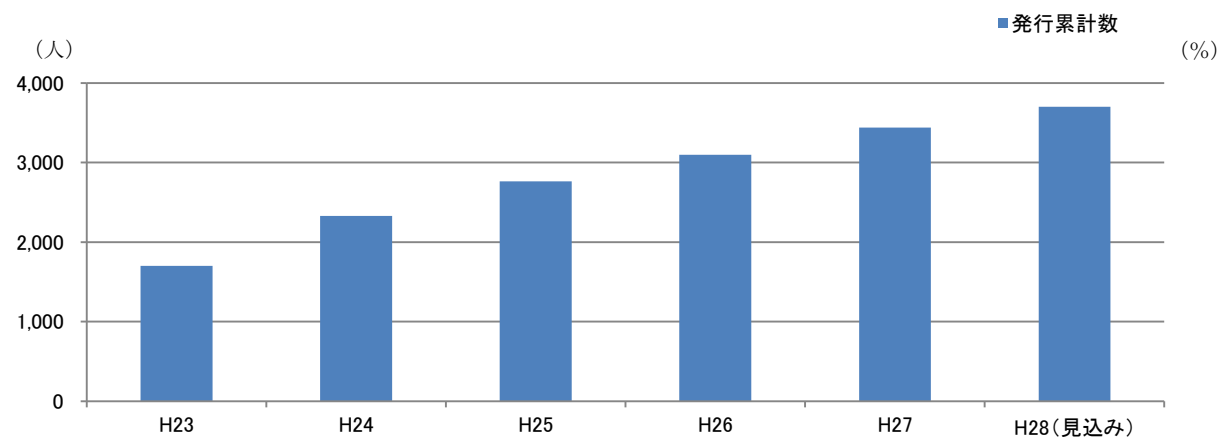


地域まるごと医療の推進



住民参加型医療の推進

私のカルテ発行累計数及び活用率(香川診療所)





■(資料3)高松市立病院を良くする会(開催状況・評価結果報告書)

○開催状況

平成23年度 第1回 [平成23年8月30日(火) 於:高松市民病院]

- (1) プレゼンテーション
 - (ア) 高松市民病院の現況 ～課題と今後について～
 - (イ) 「地域まるごと医療」の更なる実践に向けて ～塩江分院～
 - (ウ) 香川診療所の平成23年度の取り組み ～地域に信頼される医療機関となる～
- (2) 平成22年度高松市病院事業決算(見込)等について
- (3) 新病院基本計画の変更(案)について

第2回 [平成24年2月21日(火) 於:高松市民病院]

- (1) 高松市病院事業経営健全化計画(案)について

平成24年度 第1回 [平成24年10月16日(火) 於:高松市民病院]

- (1) 高松市病院事業経営健全化計画の具体的取組状況について

第2回 [平成25年2月25日(月) 於:高松市民病院]

- (1) 高松市病院事業経営健全化計画の具体的取組状況について

平成25年度 第1回 [平成25年7月11日(木) 於:高松市民病院]

- (1) 平成24年度病院事業会計決算見込みについて
- (2) 高松市病院事業経営健全化計画の具体的取組状況(平成24年度実績)について

第2回 [平成25年11月6日(火) 於:高松市民病院]

- (1) 高松市病院事業経営健全化計画(平成24年度実績)に係る総括評価について

平成26年度 第1回 [平成26年7月31日(木) 於:高松市民病院]

- (1) 平成25年度病院事業会計決算見込みについて
- (2) 高松市病院事業経営健全化計画の具体的取組状況(平成25年度実績)について

第2回 [平成26年11月6日(木) 於:高松市民病院]

- (1) 高松市病院事業経営健全化計画(平成25年度実績)に係る総括評価について

第3回 [平成27年2月5日(木) 於:高松市民病院]

- (1) 高松市病院事業経営健全化計画(案)について

平成27年度 第1回 [平成27年7月9日(木) 於:高松市民病院]

- (1) 平成26年度病院事業会計決算見込みについて
- (2) 高松市病院事業経営健全化計画の具体的取組状況(平成26年度実績)について

第2回 [平成27年11月4日(水) 於:高松市民病院]

- (1) 高松市病院事業経営健全化計画(平成26年度実績)に係る総括評価について



平成28年度 第1回 [平成28年7月5日(火) 於:高松市民病院]

- (1) 高松市病院事業経営健全化計画の具体的取組状況(平成27年度実績)について
- (2) 高松市病院事業会計決算概要について

第2回 [平成28年11月2日(水) 於:高松市民病院]

- (1) 高松市病院事業経営健全化計画(平成27年度実績)に係る総括評価について
- (2) 市立病院における医療の質の向上について
- (3) 高松市病院事業経営健全化計画の改定について





○評価結果報告書

『高松市病院事業経営健全化計画（平成24年度～26年度）』の 取組状況に係る高松市立病院を良くする会の評価結果報告書 【平成24年度の評価】

平成25年11月15日
高松市立病院を良くする会
会長 谷田 一久

1 高松市立病院を良くする会

高松市立病院を良くする会は、医療の質、透明性および効率性の向上ならびに病院事業の経営健全化を図ることにより、市民を支え、市民のための病院の実現に資することを目的として、主に「高松市病院事業経営健全化計画（以下「経営健全化計画」という。）」の策定、見直しおよび進捗状況の評価を行う外部評価組織として平成23年6月に設置され、今年で3年目を迎える。

平成24年度の経営健全化計画の取組状況について、今年度2回（7月、11月）にかけて議論し、次のとおり取りまとめたので報告する。

2 評価結果の総括

平成24年3月に策定した経営健全化計画（24年度～26年度）においては、「生きる力を応援します」を市立病院の基本理念に定め、高松市民病院は、救急医療やがん医療などの提供による「急性期病院としての医療機能の充実」を、塩江分院は、医療と福祉が一体となった「地域まるごと医療の実践」を、香川診療所は、「私のカルテ」の発行や健康教室の実施による「住民参加型医療の提供」を、基本的な考え方として病院運営に取り組むこととしている。

初年度となる24年度には、同計画に掲げる指標（数値目標）を達成するため、PDCAサイクルマネジメントの考えに基づき、7月末、12月末、3月末時点の3回にわたり、各病院・診療所において、具体的取組状況の調査や、それに対する自己評価を行うなど、計画実現に向けた取り組みを進めた結果、平成24年度の高松市病院事業全体の経常収支が、平成17年度の近隣町との合併後、初の黒字となったことは、高く評価できる。

ただ、公立病院の果たすべき役割として重要な位置づけにある、「災害医療」および「感染症医療」について、その取り組みが必ずしも十分でないように見受けられることから、これらを喫緊の課題として捉え、市立病院が一丸となって対処し、病院機能の拡充が更に図られるよう期待する。

3 評価結果

(1) 評価基準

経営健全化計画に基づき、平成24年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行った。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり順調である。	目標を達成した、または目標達成と同程度の具体的成果が得られた。
○	概ね順調である。	目標達成のための取組みを進め、一定の成果が得られた、または計画期間内に、目標達成と同程度の具体的成果が得られることが見込まれる。
△	やや遅れている。	目標達成のための取組みが不十分、または取組みを進めたものの、具体的成果が得られなかった。
×	かなり遅れている。	消極的または、目標達成のための取組みができていない。



(2) 病院・診療所の評価結果

① 高松市民病院

経営健全化計画に係る取組状況については、20項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は1項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は6項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は12項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は1項目で、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で35%となった。

近年その重要性が高まっている災害医療への取り組みや、感染症医療の充実等に不十分な点が見受けられる。

また、アメニティについても、物理的に見直しが困難であるものの、アクセスの改善などに取り組む余地がある。

しかしながら、「リーディングホスピタル」として、「7対1基準看護体制」の導入による医療の質の向上や、消防局救急隊員との意見交換会開催など、救急患者の積極的な受入れ、また、「地域医療連携だより」の隔月発刊や地域の医療機関への訪問、症例検討会の開催など、病診連携の推進による患者紹介率・逆紹介率の向上に取り組んでいること。さらには、給食調理業務の民間事業者への委託を開始するなど、効率的な医療の提供にも留意している。

こうした取組の結果、13年ぶりの経常収支黒字を達成したことが高く評価できることから、総合評価を『○(概ね順調である)』とした。

なお、取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H24	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	1項目	5%
評価結果『○』とした項目	6項目	30%
評価結果『△』とした項目	12項目	60%
評価結果『×』とした項目	1項目	5%
合計	20項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	総括評価
取組項目(大分類)	
取組項目(小分類)	
1 医療の質の確保	
1 医療技術	
1 高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	○
2 医師確保機能の強化	△
3 医師の安定確保に向けた条件整備	△
4 看護師、コメディカル職員等医療人材の確保機能の強化	△
5 スペシャリストの育成	○
6 医療安全	○
7 医療品質	△
8 災害医療	△
9 感染症医療	△
2 人間関係	
1 チーム医療体制の充実	△
2 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	○
3 患者と病院の信頼関係の構築	△
3 アメニティ	
1 患者の視点に立ったサービスの提供	△
2 各種病院サービスにおける利便性の向上	×
3 施設環境の整備	△
4 地域社会	
1 地域医療連携の強化	◎
2 医療の透明性の確保	
1 情報の積極的な発信	
1 情報の積極的な発信	○
3 医療の効率性の確保	
1 効率化	
1 効率化	○
2 管理体制	
1 管理体制	△
3 一体化	
1 一体化	△
総合評価	○



② 塩江分院

経営健全化計画に係る取組状況については、16項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は7項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は6項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は3項目で、『順調である』『概ね順調である』と評価した割合が全体で81%となった。

限られた職員で取り組む訪問看護・訪問リハ等の成果は想定以上で、また、栄養士による料理教室の開催や経営会議への地域住民の参加など、職員全員で地域を支える「地域まるごと医療」の実践に取り組まれていると評価できるものの、遅れている災害医療の取組について、塩江町地域という山間部特有の災害の発生も懸念されることから、早急な対応を強く求めたいとの委員総意を踏まえ、総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

なお、取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H24	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	7項目	43%
評価結果『○』とした項目	6項目	38%
評価結果『△』とした項目	0項目	0%
評価結果『×』とした項目	3項目	19%
合計	16項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	総括評価
取組項目(大分類)	
取組項目(小分類)	
1 医療の質の確保	
1 医療技術	
1 地域医療の推進	◎
2 医師確保機能の強化	◎
3 医師の安定確保に向けた条件整備	◎
4 スペシャリストの育成	○
5 医療安全	◎
6 医療品質	○
7 災害医療	×
2 人間関係	
1 チーム医療体制の充実	○
2 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	◎
3 患者と病院の信頼関係の構築	○
3 アメニティ	
1 患者の視点に立ったサービスの提供	○
2 施設環境の整備	×
4 地域社会	
1 共に支え合う体制の整備	○
2 医療の透明性の確保	
1 情報の積極的な発信	
1 情報の積極的な発信	◎
3 医療の効率性の確保	
1 効率化	
1 効率化	×
2 管理体制	
1 管理体制	
3 一体化	
1 一体化	◎
総合評価	○



③ 香川診療所

経営健全化計画に係る取組状況については、15項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は1項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は8項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は5項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は1項目で、『順調である』『概ね順調である』と評価した割合が全体で60%となった。

健康教室や出前講座の充実、「私のカルテ」の推進、わんコイン健診、経営会議への地域住民の参加など、住民参加型医療の実践に取り組まれていることから、全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

なお、取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H24	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	1項目	7%
評価結果『○』とした項目	8項目	53%
評価結果『△』とした項目	5項目	33%
評価結果『×』とした項目	1項目	7%
合計	15項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	総括評価
取組項目(大分類)	
取組項目(小分類)	
1 医療の質の確保	
1 医療技術	
1 地域に密着した医療の提供	○
2 医師確保機能の強化	△
3 医師の安定確保に向けた条件整備	△
4 医療安全	△
5 医療品質	△
6 災害医療	×
2 人間関係	
1 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	○
2 患者と診療所の信頼関係の構築	○
3 アメニティ	
1 患者の視点に立ったサービスの提供	◎
4 地域社会	
1 住民参加の医療	○
2 地域医療連携の強化	○
3 子供たちの健やかな成長への貢献	○
2 医療の透明性の確保	
1 情報の積極的な発信	
1 情報の積極的な発信	○
3 医療の効率性の確保	
1 効率化	
1 効率化	○
2 管理体制	
1 管理体制	
3 一体化	
1 一体化	△
総合評価	○



『高松市病院事業経営健全化計画（平成24年度～26年度）』の 取組状況に係る高松市立病院を良くする会の評価結果報告書 【平成25年度の評価】

平成26年12月2日
高松市立病院を良くする会
会長 谷田 一久

1 高松市立病院を良くする会

高松市立病院を良くする会は、医療の質、透明性および効率性の向上ならびに病院事業の経営健全化を図ることにより、市民を支え、市民のための病院の実現に資することを目的として、主に「高松市病院事業経営健全化計画（以下「経営健全化計画」という。）」の策定、見直しおよび進捗状況の評価を行う外部評価組織として平成23年6月に設置され、今年で4年目を迎える。

平成25年度の経営健全化計画の取組状況について、今年度2回（7月、11月）にかけて議論し、次のとおり取りまとめたので報告する。

2 評価結果の総括

平成24年3月に策定した経営健全化計画（24年度～26年度）に定める、高松市立病院の基本理念『生きる力を応援します』の実現に向けて、高松市民病院は「急性期病院としての医療機能の充実」を、塩江分院は「地域まるごと医療の実践」を、香川診療所は「住民参加型医療の提供」を、基本的な考え方として、「医療の質・透明性・効率性」の向上に取り組んでいる。

今回の評価対象となる平成25年度は、経営健全化計画の中間年度に当たることから、これまでに取り組んできた努力が実を結び、一定の成果を期待していたところ、評価項目51項目中、43項目、実に84%で「順調」又は「概ね順調」という結果になっている。これらの成果を踏まえ、病院事業全体の収支が、2年連続の黒字、しかも、市民病院、塩江分院及び香川診療所のそれぞれにおいて黒字となったことは、経営の健全化が着実に推進されているものと評価する。

しかしながら、病院運営の最重要課題の一つである高松市民病院の医師確保機能の強化については、十分な成果が上がっていないことから、新たな取組を検討するとともに、国の医療制度改革により医療機関を取り巻く環境が大きく変わる中、病院運営におけるDPC分析については、その重要性を職員が認識し、効果的な利用を図る必要がある。

また、災害発生時の地域医療は、自治体病院としての重要性を踏まえ、引き続きDMATの指定・編成の取組等を継続するように求める。

3 評価結果

(1) 評価基準

経営健全化計画に基づき、平成25年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行った。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり順調である。	目標を達成した、または目標達成と同程度の具体的成果が得られた。
○	概ね順調である。	目標達成のための取組を進め、一定の成果が得られた、または計画期間内に、目標達成と同程度の具体的成果が得られることが見込まれる。
△	やや遅れている。	目標達成のための取組が不十分、または取組を進めたものの、具体的成果が得られなかった。
×	かなり遅れている。	消極的または、目標達成のための取組ができていない。



(2) 病院・診療所の評価結果

① 高松市民病院

経営健全化計画に係る取組状況については、20項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は4項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は10項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は6項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で70%となった。

全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

救急医療体制及び病診連携体制の強化への取組の成果が、それぞれ救急車受入件数及び患者紹介率・逆紹介率に数値として表れている。また、ヒヤリハット報告会を年間14回開催するなど医療安全に積極的に取り組むとともに、高松市立病院医療事故公表基準に基づく医療事故等の公表から、医療の透明性の確保にも積極的に取り組んでいることが認められる。

しかしながら、医師確保機能の強化及びDPC分析の充実については、前年度から進展が見られず、改善に取り組む必要がある。

なお、災害医療については、目標に掲げるDMATの整備が制度的な面から達成できていないものの、大規模災害時のマニュアルの策定や防災訓練が実施されていることを踏まえ、能力的にはDMATに相当するチームを既に準備していることを評価する。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H25	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	4項目	20%
評価結果『○』とした項目	10項目	50%
評価結果『△』とした項目	6項目	30%
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	20項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	総括評価
取組項目(大分類)	
取組項目(小分類)	
1 医療の質の確保	
1 医療技術	
1 高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	○
2 医師確保機能の強化	△
3 医師の安定確保に向けた条件整備	○
4 看護師、コメディカル職員等医療人材の確保機能の強化	○
5 スペシャリストの育成	○
6 医療安全	◎
7 医療品質	○
8 災害医療	◎
9 感染症医療	○
2 人間関係	
1 チーム医療体制の充実	△
2 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	◎
3 患者と病院の信頼関係の構築	○
3 アメニティ	
1 患者の視点に立ったサービスの提供	△
2 各種病院サービスにおける利便性の向上	○
3 施設環境の整備	△
4 地域社会	
1 地域医療連携の強化	◎
2 医療の透明性の確保	
1 情報の積極的な発信	
1 情報の積極的な発信	○
3 医療の効率性の確保	
1 効率化	
1 効率化	○
2 管理体制	
1 管理体制	△
3 一体化	
1 一体化	△
総合評価	○



② 塩江分院

経営健全化計画に係る取組状況については、16項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は9項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は7項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目及び『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で100%となった。

全体としての総合評価は『◎(計画どおり順調である)』とした。

地域医療スピリッツの開催及び香川大学医学部の寄附講座(地域包括医療学講座)の活用等により、香川大学との連携を推進しながら、塩江分院の特徴である訪問診療、訪問看護等の実績を着実に積み上げていることを評価する。

分院の基本方針の一つである、「地域まると医療」の実践に順調に取り組んでいるが、高齢者が多く、山間部に位置する地域性を考慮し、災害医療へのさらなる取組強化を期待したい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H25	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	9項目	56%
評価結果『○』とした項目	7項目	44%
評価結果『△』とした項目	0項目	—
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	16項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	総括評価
取組項目(大分類)	
取組項目(小分類)	
1 医療の質の確保	
1 医療技術	
1 地域医療の推進	◎
2 医師確保機能の強化	◎
3 医師の安定確保に向けた条件整備	◎
4 スペシャリストの育成	○
5 医療安全	◎
6 医療品質	○
7 災害医療	○
2 人間関係	
1 チーム医療体制の充実	◎
2 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	◎
3 患者と病院の信頼関係の構築	○
3 アメニティ	
1 患者の視点に立ったサービスの提供	◎
2 施設環境の整備	○
4 地域社会	
1 共に支え合う体制の整備	○
2 医療の透明性の確保	
1 情報の積極的な発信	
1 情報の積極的な発信	◎
3 医療の効率性の確保	
1 効率化	
1 効率化	○
2 管理体制	
1 管理体制	
3 一体化	
1 一体化	◎
総合評価	◎



③ 香川診療所

経営健全化計画に係る取組状況については、15項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は6項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は7項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は2項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で87%となった。

全体としての総合評価は『◎(計画どおり順調である)』とした。

全国的にも注目されるプロジェクトの「私のカルテ」のさらなる推進と進化に期待したい。また、計画目標を上回る年間16回にもものぼる健康教室・出張講座の実施に、住民の中に入っていく積極的な姿勢が見受けられ、「住民参加型の医療の提供」への取組を着実に実践していることを評価する。

ただし、災害医療及び患者の視点に立ったサービスの提供に積極的な取り組みを要する。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H25	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	6項目	40%
評価結果『○』とした項目	7項目	47%
評価結果『△』とした項目	2項目	13%
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	15項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	総括評価
取組項目(大分類)	
取組項目(小分類)	
1 医療の質の確保	
1 医療技術	
1 地域に密着した医療の提供	◎
2 医師確保機能の強化	○
3 医師の安定確保に向けた条件整備	○
4 医療安全	○
5 医療品質	○
6 災害医療	△
2 人間関係	
1 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	○
2 患者と診療所の信頼関係の構築	◎
3 アメニティ	
1 患者の視点に立ったサービスの提供	△
4 地域社会	
1 住民参加の医療	◎
2 地域医療連携の強化	◎
3 子供たちの健やかな成長への貢献	◎
2 医療の透明性の確保	
1 情報の積極的な発信	
1 情報の積極的な発信	◎
3 医療の効率性の確保	
1 効率化	
1 効率化	○
2 管理体制	
1 管理体制	
3 一体化	
1 一体化	○
総合評価	◎



『高松市病院事業経営健全化計画（平成24年度～26年度）』の 取組状況に係る高松市立病院を良くする会の評価結果報告書

【平成 26 年度の評価】

平成 27 年 11 月 4 日

高松市立病院を良くする会

会長 谷田 一久

1 高松市立病院を良くする会

高松市立病院を良くする会は、医療の質・透明性及び効率性の向上並びに病院事業の経営健全化を図ることにより、市民を支え、市民のための病院の実現に資することを目的として、主に「高松市病院事業経営健全化計画（以下「経営健全化計画」という。）」の策定、見直し及び進捗状況の評価を行う外部評価組織として平成 23 年6月に設置され、今年で3期5年目を迎える。

平成 26 年度の経営健全化計画の取組状況について、今年度2回(7月、11月)にかけて議論し、次のとおり取りまとめたので報告する。

2 評価結果の総括

平成 24 年3月に策定した経営健全化計画(24年度～26年度)に定める、高松市立病院の基本理念『生きる力を応援します』の実現に向けて、高松市民病院は「急性期病院としての医療機能の充実」を、塩江分院は「地域まると医療の実践」を、香川診療所は「住民参加型医療の提供」を、基本的な考え方として、「医療の質・透明性・効率性」の向上に取り組んでいる。

今回の評価対象となる平成 26 年度は、経営健全化計画の最終年度であり、評価項目 52 項目中、50 項目、実に 96%で「順調」又は「概ね順調」という結果になっており、これまでに取り組んできた努力が実を結び、一定の成果があったものの、企業会計基準の見直しに伴う退職給付引当金の一括計上等が影響したため、26年度の病院事業の純損益は大きく赤字となった。また、退職給付引当金を除く経常収支においては、市民病院が、全国的な患者数の減少傾向や周辺医療機関の施設整備等の影響により入院患者数が減少し、昨年度の黒字から赤字になったものの、塩江分院と香川診療所は、昨年度に引き続き黒字となったことは、一定の評価をしたい。

しかしながら、病院運営の最重要課題の一つである高松市民病院の医師確保機能の強化については、努力は認められるものの、十分な成果が上がっておらず、新病院の開院に向け、これまでの取り組みの強化とともに、市と一体となった新たな施策を検討する必要がある。

また、災害発生時の地域医療は、自治体病院として担うべき役割を踏まえ、引き続きDMATの指定・編成に向けた取り組み等を継続するように求める。

今後とも、市民を支え、市民のための病院の実現に向けて、一層の努力を期待したい。

3 評価結果

(1) 評価基準

経営健全化計画に基づき、平成 26 年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行った。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり順調である。	目標を達成した、または目標達成と同程度の具体的成果が得られた。
○	概ね順調である。	目標達成のための取組みを進め、年度末(一定期間経過後)に、目標達成と同程度の具体的成果が得られることが見込まれる。
△	やや遅れている。	目標達成のための取組みが不十分または、取組みを進めるものの、年度末(一定期間経過後)に、成果が得られる見込みが少ない。
×	かなり遅れている。	消極的または、目標達成のための取組みができていない。



(2) 病院・診療所の評価結果

① 高松市民病院

経営健全化計画に係る取組状況については、20項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は2項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は15項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は3項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で85%となった。

全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

患者への信頼を高めるために、各職種による指導や相談事業が行われており、特に、「私のカルテ」の事業は素晴らしく、患者との信頼関係を構築しており、一層の推進が求められる。また、地域医療連携においては、地域の医療機関との連携強化により、紹介率・逆紹介率が向上し、地域医療支援病院の承認を得たことは大きく評価したい。

しかしながら、医師確保機能の強化については、努力が認められるものの、前年度から進展が見られず、新病院の開院に向け、これまでの取り組みの強化とともに、市と一体となった新たな施策を検討する必要がある。また、看護師の人材確保のため、中堅・ベテランの職員の離職を防止する対策が求められるほか、院内誘導表示の改修については、院内全体を表示したパンフレット等を作成するなど、新たな取り組みを実行されたい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H26	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	2項目	10%
評価結果『○』とした項目	17項目	75%
評価結果『△』とした項目	1項目	15%
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	20項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	取組項目(大分類)	取組項目(小分類)	総括評価
1 医療の質の確保	1 医療技術	1 高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	○
		2 医師確保機能の強化	○
		3 医師の安定確保に向けた条件整備	○
		4 看護師、コメディカル職員等医療人材の確保機能の強化	○
		5 スペシャリストの育成	○
		6 医療安全	○
		7 医療品質	○
		8 災害医療	○
		9 感染症医療	○
	2 人間関係	1 チーム医療体制の充実	○
		2 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	◎
		3 患者と病院の信頼関係の構築	○
	3 アメニティ	1 患者の視点に立ったサービスの提供	○
		2 各種病院サービスにおける利便性の向上	○
		3 施設環境の整備	△
	4 地域社会	1 地域医療連携の強化	◎
2 医療の透明性の確保	1 情報の積極的な発信	1 情報の積極的な発信	○
3 医療の効率性の確保	1 効率化	1 効率化	○
	2 管理体制	1 管理体制	○
	3 一体化	1 一体化	○
総合評価			○



② 塩江分院

経営健全化計画に係る取組状況については、17項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は10項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は7項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目及び『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で100%となった。

全体としての総合評価は『◎(計画どおり順調である)』とした。

塩江地域唯一の医療機関としての責任を果たすため、医師、看護師が24時間・365日体制で患者の在宅療養を支援する「在宅療養支援病院」として、多職種による訪問診療、訪問看護等を通じて、「地域まるごと医療」を実践していることを評価する。

医療の質と効率性をより一層向上させるため、さらなる取り組み強化を期待したい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H26	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	10項目	59%
評価結果『○』とした項目	7項目	41%
評価結果『△』とした項目	0項目	—
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	17項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	総括評価
取組項目(大分類)	
取組項目(小分類)	
1 医療の質の確保	
1 医療技術	
1 地域医療の推進	◎
2 医師確保機能の強化	◎
3 医師の安定確保に向けた条件整備	◎
4 スペシャリストの育成	○
5 医療安全	○
6 医療品質	◎
7 災害医療	○
2 人間関係	
1 チーム医療体制の充実	◎
2 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	◎
3 患者と病院の信頼関係の構築	◎
3 アメニティ	
1 患者の視点に立ったサービスの提供	◎
2 施設環境の整備	○
4 地域社会	
1 共に支え合う体制の整備	○
2 医療の透明性の確保	
1 情報の積極的な発信	
1 情報の積極的な発信	◎
3 医療の効率性の確保	
1 効率化	
1 効率化	○
2 管理体制	
1 管理体制	○
3 一体化	
1 一体化	◎
総合評価	◎



③ 香川診療所

経営健全化計画に係る取組状況については、15項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は9項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は5項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は1項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で93%となった。

全体としての総合評価は『◎(計画どおり順調である)』とした。

これまでの診療に加え、地域包括ケアを見据えた健康教室や出張講座の実施、患者との診療情報の共有を図る「わたしのかるて」の積極的な発行、わんコイン健診の推進、経営会議への地域住民の参加等、住民参加型医療の実践に取り組んでいることを評価する。

ただし、災害医療等において、さらなる改善を期待する。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H26	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	9項目	60%
評価結果『○』とした項目	5項目	33%
評価結果『△』とした項目	1項目	7%
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	15項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	総括評価
取組項目(大分類)	
取組項目(小分類)	
1 医療の質の確保	
1 医療技術	
1 地域に密着した医療の提供	◎
2 医師確保機能の強化	○
3 医師の安定確保に向けた条件整備	○
4 医療安全	○
5 医療品質	○
6 災害医療	△
2 人間関係	
1 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	◎
2 患者と診療所の信頼関係の構築	◎
3 アメニティ	
1 患者の視点に立ったサービスの提供	◎
4 地域社会	
1 住民参加の医療	◎
2 地域医療連携の強化	◎
3 子供たちの健やかな成長への貢献	◎
2 医療の透明性の確保	
1 情報の積極的な発信	
1 情報の積極的な発信	◎
3 医療の効率性の確保	
1 効率化	
1 効率化	◎
2 管理体制	
1 管理体制	
3 一体化	
1 一体化	○
総合評価	◎

■(資料4)高松市立病の医療の確保と経営の健全化をすすめる会(開催状況)

○開催状況

平成23年度 第1回 [平成23年7月25(月) 於:高松市役所]

- (1) 高松市病院事業の経営方針について
- (2) プレゼンテーション
 - (ア) 高松市民病院の現況 ～課題と今後について～
 - (イ) 「地域まるごと医療」の更なる実践に向けて ～塩江分院～
 - (ウ) 香川診療所の平成23年度の取り組み ～地域に信頼される医療機関となる～

第2回 [平成24年2月16日(木) 於:マリンパレスさぬき]

- (1) 高松市病院事業経営健全化計画(案)について

平成24年度 第1回 [平成24年10月2日(火) 於:高松市役所]

- (1) 高松市立病院の現況と経営健全化計画の具体的取組状況について

第2回 [平成25年2月18日(月) 於:高松市民病院]

- (1) 高松市立病院の平成24年度における取組状況等について

平成25年度 第1回 [平成25年11月29日(金) 於:高松市役所]

- (1) 高松市病院事業経営健全化計画に係る外部評価結果について
- (2) 地方公営企業会計制度の見直しについて
- (3) 高松医療圏における市民病院の位置づけについて
- (4) 高松市立病院の平成25年度における取組状況について

平成26年度 第1回 [平成26年8月5日(火) 於:高松市役所]

- (1) 平成25年度病院事業会計決算等について
- (2) 高松市病院事業経営健全化計画の具体的取組状況(平成25年度実績)について

平成27年度 第1回 [平成27年8月10日(月) 於:高松市役所]

- (1) 平成26年度病院事業会計決算見込について
- (2) 高松市病院事業経営健全化計画の具体的取組状況(平成26年度実績)について





■(資料5)収支計画算定基礎数値

1 市民病院

患者数等

		平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度
入院	患者数(人)	70,499 (69,801)	86,376 (57,918)	89,060 53,603	89,790 69,715
	収益(千円:税込)	3,237,867 (3,258,880)	3,950,356 (2,811,437)	4,156,536 2,823,999	4,311,841 3,807,322
	患者一人当たり 診療収益(円:税込)	45,928 (46,688)	45,734 (48,542)	46,671 52,684	48,021 54,613
	診療日数(日)	365	366	365	365
	病床数(床)	387	387	387	387
	(うち一般病床数)	311	311	311	311
	一般病床利用率(%)	59.3 (59.0)	73.3 (48.6)	75.9 44.6	76.5 58.2
外来	患者数(人)	88,450 (88,695)	92,340 (76,532)	91,854 69,124	91,256 81,496
	収益(千円:税込)	1,185,848 (1,204,013)	1,245,795 (1,124,642)	1,242,022 1,023,762	1,246,895 1,287,647
	患者一人当たり 診療収益(円:税込)	13,407 (13,575)	13,491 (14,695)	13,522 14,811	13,664 15,800
	診療日数(日)	244	243	243	244

※人間ドック30床は病床数に含んでいない。

職員数

(単位:人)

	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度
病院事業管理者	1	1	1	1
医師	42 (42)	45 (40)	48 43	52 43
看護師	243 (245)	248 (238)	251 240	252 237
医療技術職	68 (63)	70 (62)	70 72	70
事務職等	43 (42)	41 (40)	41 36	41 36
計	397 (393)	405 (381)	411 392	416 387



2 塩江分院 患者数等

		平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度
入院	患者数(人)	23,531 (23,130)	24,156 (22,074)	24,700	24,700
	収益(千円:税込)	343,993 (347,717)	370,501 (335,984)	388,230	391,712
	患者一人当たり 診療収益(円:税込)	14,619 (15,033)	15,338 (15,221)	15,718	15,859
	診療日数(日)	365	366	365	365
	病床数(床)	87	87	87	87
	(うち介護病床数)	20	20	20	20
	病床利用率(%)	74.1 (72.8)	75.9 (69.3)	77.8	77.8
外来	患者数(人)	26,401 (26,542)	26,730 (25,867)	26,200	25,700
	収益(千円:税込)	264,317 (269,940)	269,487 (249,894)	264,820	262,032
	患者一人当たり 診療収益(円:税込)	10,012 (10,170)	10,082 (9,661)	10,108	10,196
	診療日数(日)	244	243	243	244
訪問看護	利用者数(人)	2,700 (2,696)	2,780 (2,730)	2,800	2,820
	収益(千円:税込)	19,872 (20,550)	21,537 (20,480)	20,752	21,038
	利用者1人1日当たり 収益(円:税込)	7,360 (7,622)	7,747 (7,502)	7,411	7,460

職員数

(単位:人)

	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度
医師	3 (3)	3 (3)	3	3
看護師	30 (31)	29 (30)	29	29
医療技術職	6 (5)	6 (5)	6	6
事務職等	8 (8)	8 (8)	8	8
計	47 (47)	46 (46)	46	46



3 香川診療所 患者数等

		平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度
外来	患者数(人)	33,071 (33,210)	34,398 (33,176)	34,300	34,398
	収益(千円:税込)	209,813 (210,501)	220,078 (208,677)	219,451	222,039
	患者一人当たり 診療収益(円:税込)	6,344 (6,338)	6,398 (6,290)	6,398	6,455
	診療日数(日)	293	294	292	293

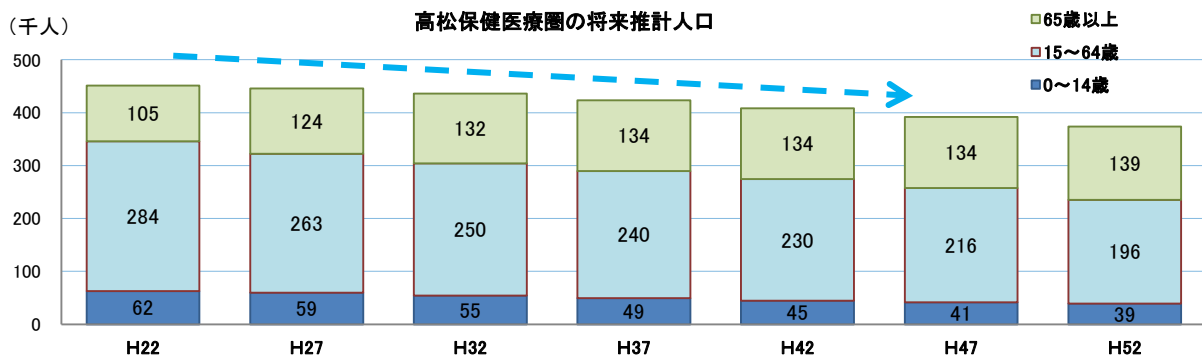
職員数

(単位:人)

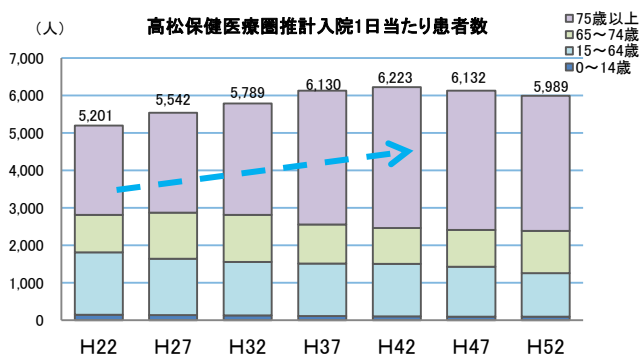
	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度	平成29年度
医師	2 (2)	2 (2)	2	2
看護師	5 (5)	5 (5)	5	5
医療技術職	2 (2)	2 (2)	2	2
事務職等	2 (2)	2 (2)	2	2
計	11 (11)	11 (11)	11	11



■(資料6)参考データ

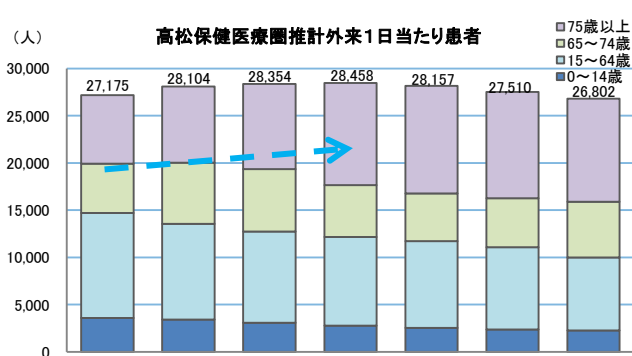


H25 地域別将来推計人口 (国立社会保障・人口問題研究所)



H25 地域別将来推計人口 (国立社会保障・人口問題研究所)

H26 患者調査 (厚生労働省)



H25 地域別将来推計人口 (国立社会保障・人口問題研究所)

H26 患者調査 (厚生労働省)

市立病院エリア図及び高松市民病院エリア別患者数

